



家庭教育支援チーム

# 前向き子育てふくおか



【未来を担う大切な子ども達と親を支援する団体です】

## ■ チーム結成の経緯

子育て中の皆さんに効果的な子育て方法を伝え、子どもを上手に伸ばして欲しいという思いで2014年、任意団体を設立しました。久留米市が、市民と行政が地域を共に支え合う、まち作りの観点からできた市民団体を応援する補助金「キラリ輝く市民活動活性化補助金」を活用し運営を開始しました。行政が得意とする広報、実動できる団体と仕事を明確に切り分けし、子育て中の皆さんに何が必要かという視点を大切に相談しながら進んできました。講座を受講したママ達の中から、活動を応援してくれる仲間ができました。安心して活動できるように、2017年、特定非営利活動法人「前向き子育てふくおか」設立をしました。

## ■ 構成メンバー

看護師、言語聴覚士、医師、民生委員、  
支援員、大学教員、講座受講したパパやママなど



連続講座の様子

## ■ 支援方法

トリプルPという手法を使い支援活動をしています。

トリプルP（前向き子育てプログラム）はオーストラリアで開発され、世界25カ国で実施されている親向けの子育て支援プログラムです。17の核となる子育て技術の半分以上は良い親子関係を形成したり、新しいことを学んだり、良い習慣を促すための子育て技術から構成されています。これによって、子育てのほとんどの状況に対応できるようになります。家庭、学校、地域のなかで起こる問題を予防し、子ども達が自分自身の可能性を伸ばせるような、家庭環境を創ることを目的としています。トリプルPでは、子育てをされる方が今の家族の状況、子どもの特徴を理解し、効果的な子育て方法に取り組み、自分の子どもに合わせて組み立てていく力を支援します。より良い親子関係や子育て技術が身に付き、子育てに自信を持てるようになります。



イラスト 久本ちなつ



連続講座の様子

※講座の前後で質問紙をとらせて頂く事でプログラムの効果検証を行っています。




「前向きプラス」フォローアップ講座の様子



イラスト 久本ちなつ

■ 取り組み【30年度】

参加者ルート	参加したいものを自由に選択	その後のフォロー
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 広報誌・チラシ。</li> <li>■ 行政からの紹介。</li> <li>■ 参加者からの紹介。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ テーマを絞った講演会。</li> <li>・ プレパパ・ママから学ぶ前向き子育て。</li> <li>・ 支援者向けセミナー</li> <li>・ 子育てが楽しくなる前向き子育て</li> <li>■ 個人講座（1時間×4回）</li> <li>■ すべての親向け連続講座 グループワーク（2時間×5回） 個人対応（30分×3回）</li> <li>■ 子どもの発達に課題のある親向け連続講座 グループワーク（2時間半×6回） 個人対応（30分×3回）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 年に2回、新規参加者を巻き込んだフォローアップ講座。</li> <li>■ メールや郵便で子育てイベント紹介。</li> <li>■ 年に1度その後の参加者の追跡調査。希望者のみ無料で個別対応。</li> <li>■ 随時メール、電話で相談体制。</li> </ul>

■ 今年度からの取り組み

※早期介入と前向きなこそだて方法の一般化実現の為、久留米市公立保育園9か所  
講演会・講話・個人相談・トリプルPプライマリー・アウトリーチ（参加者宅）

（利点と課題）

- ・ 保育園と情報共有ができるのでより健やかな子どもの育ちに効果的な支援が可能になった。
- ・ こちらから出向く事で、早期介入や今まで会えなかった方たちに会いやすい環境ができた。
- ・ 困った人への支援には繋がりがやすかったが、みんなが楽しく上手に子育てに取り組めるように周知がこれからの課題です。

■ 参加者の感想（1部）

- ・ 私自身イライラすることが減り子育てが楽しくなりました。ホームワークもあるので不安でしたが内容も分かりやすくて良かったです。学べたことが子育てに余裕が出て良かったです。 （子ども12才、6才）
- ・ 子どもでなく私が変わらないと何も変わらないと気付きました。子どもの為にと思い「だめだめ」と口うるさい怖いママだったと思います。今は子どもに寄り添い見守り、良いところ探しをするようになりました。不思議と気持ちが楽になりました。 （子ども3才）
- ・ 今まで子どもに対して「なんで?」「どうして?」が多かったけど、少し観察してみて何故できないのか子どもにどう対応すれば子どもが答えてくれるか分かるようになりました。親の言葉、行動を少し変えるだけで子どもは驚くほど変わっていくのを実感しました。 （子ども3才）
- ・ 子どもからふとした時に「ママの笑顔が増えたね」と言われました。とてもうれしかったです。 （子ども8才）